

平成 28 年度 第 5 回堺市堺区区民評議会 会議録

開催日時	平成28年10月20日（木） 午後 6 時00分から午後 7 時30分
開催場所	堺市役所 本館 3 階 堺区役所会議室
出席委員	岩田会長、桂委員、川上委員、佐野委員、信田委員、谷本委員、 間宮委員、矢本委員、湯川委員
事務局職員	堺区役所 射手矢区長、小尾堺保健福祉総合センター所長 (企画総務課) 大黒課長、三好課長補佐、上野係長、大仲係長、藪主査
傍聴者	2 名
議 題	1 開会 2 議事 （1）中間報告案について （2）その他 3 閉会
資 料	会議次第 資料 1 中間報告（案） 資料 2 平成 28 年度堺市堺区区民評議会 今後のスケジュール（案） 参考資料 1 「大道びと Plus more プロジェクト」（公募提案 型協働推進事業） 参考資料 2 町家バンク等の他市事例について 参考資料 3 第 4 回堺市堺区区民評議会（堺区選出市議会議員との意見 交換会）主な意見

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
岩田会長	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 中間報告案について</p> <p>それでは、案件1の中間報告案について審議を進めてまいりたいと思います。</p> <p>これまで、区民評議会での審議や堺区選出市会議員との意見交換会を経て、諮問事項について議論を深めてきたところです。その議論を受け、方向性などを整理したものが資料1の中間報告案になります。中間報告案について、事務局のほうから説明をお願いします。</p> <p>資料1に基づき、中間報告案について説明</p>
岩田会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>最終答申は、平成29年2月をめどにしたいということで、今回は、中間報告案ということになります。皆さんから議論いただきました意見をこの中にできるだけ反映したものになっているかと思います。この内容につきまして、今からご審議をいただきまして、追加すべき項目であるとか、加筆すべき内容であるとか、ご意見等をいただけたらと思っております。</p> <p>何か気になるような点ございませんか。とりあえず、この中間報告案をお認めいただけますでしょうか。もう少し時間必要でしょうか。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>前回までのご審議では、直接は出てないようなところも事務局のほうで加筆をさせていただいたようなところもございます。2ページの1番下のところです。コミュニティカフェとかものづくり工房とか町家を活用した集客回遊性、にぎわいづくりに不可欠な活用というのは、いろいろご意見をいただいておりますが、行政としまして、にぎわい以外のところで、居場所づくりであったり、高齢者の交流広場、起業家を支援するためのコ・ワーキングスペース、いわゆるシェアリングのスペースですね。こういうものも将来的には、幅広く活用の分野</p>

	<p>を広げることによって、所有者さんが意向に沿ったかたちで、活用できるのではないかと。これは、また後ほど議論していただく他都市の活用事例なんかでも、そういうことを目的にしたものがございまして、そういうことも幅広く今後の審議に含めていただきたいと思いますので、入れさせていただいた内容でございます。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>この部分については、全く話がなかったわけではなく、高齢者の交流の場とか、そういった子どもの居場所とかという話も出てたようですし、特に問題はないかと思いますが、ただ、どこにでもあるような切り口にならないようにしたいなという気はします。コワーキングスペースって、片仮名じゃないのを目指したいんですけど、何て書けばいいんですか。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>ここは、ご意見いただいて。脚注も必要などころには、最終は入れさせていただきます。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>あんまりそういうことをしないほうがよろしいです。ですから、この単語をどう変えたらいいかということなんです。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>わかりました。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>あっち見たり、こっち見たりはしない方がいいと思います。</p>
<p>信田委員</p>	<p>子どもの居場所づくりとか、高齢者の交流広場というのは、堺区の全校区に地域会館もありますし、そういう機能を持って活動しているので、それは地元とすごく連携してつくっていかないと、ものだけつくって、全然いつも誰も利用しないというふうなものになりかねないと思うんです。これまでの例でもそういうことがあるのをよくご存じだと思うんですけども。</p> <p>何かこういうふうを書くときれいにもっともと思うけれども、地域と密着したものにさせていただかないと、せっかくのお金使っても何もならないかなと思います。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>わかりました。そのような視点を加筆するような形でよろしいでしょうか。</p>

信田委員	そうですね。
岩田会長	これ多分、それぞれの項目が独立しているのではなくて、何かもっと、みんなが集えるような場所みたいなイメージなのかなと思うんですけれども。
信田委員	だから、今ないものといったら、ワーキングスペースとか、そういう校区をまたいだ、いわゆる皆さんの集まる場所とか、そういうところのほうが、本当は堺区に必要ではないかと思っています。
事務局 (企画総務課長)	それについては書き込みますので、また書き込んだ案を、集まっていたくというのは時間がありませんので、最終案ということで、またお知らせをさせていただきますので。今日いろいろ意見いただければと思います。
岩田会長	全部がそのとおりになるかどうかは、前後の関係できれいにはおさめたいんですけども。
信田委員	社会問題化しつつあるというのは、必要ないようには思います。
事務局 (企画総務課長)	わかりました。
信田委員	それには、かなり堺区内の各校区が対応していると思います。
事務局 (企画総務課長)	ありますね。福祉委員会でやっていただいているものがあったり、子ども青少年局がやっているような子育て広場とかありますね。
信田委員	それぞれ地域で委託事業としてやっているところとか、独自でやっているところとかありますので。ただ、こういう場所をつくるのは、役所はわりと簡単と思われるかもしれないけど、その後にどういうふうな人がついてくるかというのを考えると、もっと地域と密着してやっていっていただきたいなと思います。
岩田会長	運営方法とかも本当はちゃんと考えてあるかなということですよ

	ね。
信田委員	そうですね。もったいないと思います。
岩田会長	そうですね。運営の仕方とかですね、大事にね。
谷本委員	町家の現状を把握するための調査などを実施することで、町家への関心を高めるところあるんですけども、このことそのものが恐らく、今まで何回か過去にも言われ続けてきたことだと思うんですけども、あまり進展してないということは、もうちょっと具体的に誰が何をどのように調査するかということを審議することで、具体的に実行性の高い内容にしていければと思います。
事務局 (企画総務課長)	ここ実行性の高めるよう、要するに5W1Hをもっと明確に書くということが必要ですね。
谷本委員	そうですね。5W1Hは多分審議することだと思うんですよ。ここを何かさらっと流すのではなくて、そういうことも本当に審議するみたいな表現にしていくか。
事務局 (区長)	中身をもう少し議論して、ここである程度詰めていくということやね。意気込みも含めてということですね。
谷本委員	多分、この言葉は今まで何回か出ていると。それでも実行されてないのは何でかということやと思いますけどね。
岩田会長	私、ここの今の文章、確かに読んでみまして、区内の大学生ってあまりいないので、本当は中学生とか小学生のほうが、地元に着してパワーがありそうな気がするんですけど。区内の大学生という表現が今までなかったのも、なぜこんな表現になったのかなっていう気はしました。よその大学生はだめですか。
事務局 (企画総務課主査)	そういうわけではありません。以前、調査の話が出た際に、大学生にも参画いただきながらというご意見があったかと思います。そういった部分も踏まえた表現をさせていただいているところであります。先ほど谷本委員がおっしゃっていただいた部分としましては、これ

	<p>を答申としていく中で、具体的なより少し踏み込んだかたちでのご議論なんかもここでやっていただきながら、具体化していければなとも思っておりますので、そういったことを含めたご意見なんかもご議論いただければと思っております。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>この段階で、あまり固めるような言い方じゃないほうがいいということですね。確かに大学っていったら関大しかない。</p>
川上委員	<p>そういう意味では、区内に住んでいる大学生じゃなかったですか。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>逆にそんな誤解も生むということですね。</p>
川上委員	<p>そうですね。九州の人で、ここへ来ている人もいるからね。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>区内に住んでいる大学生も含めて。この段階では、もうちょっと視野広げた書き方にしておきます。</p>
岩田会長	<p>前年の最終答申の中に、このような文章入っていますので、それをもう一回見てほしいなと思うんですけど、こんな書き方ではなかったと思います。</p> <p>そうやって細かく見ていくと限りがないかもしれないんですけども、気づいたところで、他にいかがでしょうか。</p>
川上委員	<p>中間報告なのでこの書き方でいいのかと思いますけども、必要であるというのは何回も出てきます。有効であるというのが2回。全部こういうパターンでいいんですか。この時点では。</p>
岩田会長	<p>問題を投げかけているだけということですよ。もうちょっと話したのにといい気がするということなんですかね。</p>
間宮委員	<p>いいですか。その辺の議論をしていくということは、次の6回目に具体的な提案について検討して、7回目に具体的に案を出していくというスケジュールを組まれているので、これをあと2回で具体的にしていけないといけませんよね。</p> <p>ですから、考えていけないといけないのは、本当にこれが具体的な</p>

	<p>案まで持っていけるのかどうかということをごここで検討していかないと、今この段階では、こういう文章でいいと思いますけども。検討しながらやっていったらいいと思うんですけども、このわずかの時間で最終的に具体的な案をつくる、そういう案を今のところで考えていかないといけないのではないかと。そのときに、この中から全てはできないと思いますので、何点かピックアップして。</p> <p>今できないけども、これを実現するためにしていくという。そののしぼり込みがこの中に見えてなかったら、次の段階に行ってもまた同じことになってしまって、結局、具体案というのはなかなかつくれないのではないかなと思うんです。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>おっしゃるとおり、今、総花的に感じるような取組の例にしても、今までいただいた意見を削ることなく入れさせていただいています。やれることが限られますし、重点化といいますか、緊急性があったり重要性があったり、有効性があるやつにしぼり込んでいくということが必要なんですけども、そのあたりは、こちらの会議の中で優先順位をつけていただく。最終的にそのまま予算化できるということは、実際には難しい部分もあるのかもしれませんが、この中で答申をいただいて、我々がその予算化に向けて頑張っていくということなのかと。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>予算化はまた別の問題で僕はいいと思います。ただ、評議会としてあと2回の中に最終着地点を考えておかないと、そのときになってできないというわけにはいかないのです。</p> <p>全体的な質問なんですけども、最終的にこの評議会ですらどういう着地点をここへ持っていくんだということをこの中間報告を踏まえながら、少し議論をしていかないといけないかなと思うんですね。</p> <p>参考資料をきのう拝見していて、谷本委員にもさっきお聞きしたんですけども、多分評議会がめざすものはこれだったのではないかなと思います。同じことが書かれているので。そこが僕よく理解できてないんですけども、多分この評議会では、こういうことをできる組織をつくるために議論していたのに、既にでき上がっていて予算もついているので、この評議会、別に何もしなくてもいいのではないかなと。こういうものが既に同時進行でできているのであれば、この着地点というのは、これと違ったものにしないと価値がないような気がするんですね。皆さんどうかかわからないですけど、僕らの頭の中では、この</p>

	<p>つくられたものをつくるために何かやっていたとっていたんですけども、それが既にできているので、じゃこれと違ったものにしていかないといけないですよ。そうすると、何ができるのかなという。そこがすごく疑問なので、整理をしないといけないと思うんですね。そこを一回整理しませんか。そうしないと多分この評議会のずっとやってきたことの結論が全部ここに書かれているので、この評議会はこの後、1、2回で何を具現化するのか。多分これだと思うんです。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>参考資料1が今話題に上がっているんですけども、これについて少し説明をお願いしますか。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>その後、私どものほうの事業とこの区民評議会の関係についても見解を述べさせていただきます。</p>
	<p>参考資料1に基づき、「大道びと Plus more プロジェクト」(公募提案型協働推進事業)について説明</p>
<p>岩田会長</p>	<p>はい。まさに評議会で話をしてきた成果というのがここに出てきているんですが、それはある意味いいことなんですけども。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>まさにこの評議会でご議論いただいていた内容に沿った事業になっているのかなと思いますけども、これが成果というものではなく、これから進めていく事業でございます。当然、一事業でございますので、この1つの事業でこの区民評議会でご議論いただいた最終の成果が上がるというのは、これは事業を何本も重ねていく、相乗効果を生んでいくということが重要でございます。この事業を進めれば、もう区民評議会の目的が達成するというものではないのかなというのは、私どもは考えております。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>それはそれでいいと思うんですね。僕言っているのは、評議会でご議論したものが全てここに盛り込まれているじゃないですか。この評議会としての具体案というのもこれじゃないですか。あと2回で何を着地点として議論していったらいいのかなというのか。違う方向にもっていったほうがいいんですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この事業が着地点というよりも、この事業のような他の事業もいろ</p>



(企画総務課長)	<p>いろいろあります。まずは1年目は1イベントで、その原資を活用して、空き家のリノベーションをしていく。その後、そのリノベーションしたところに若い起業家を呼び込むというこの3段階ステップになっています。まさに区民評議会でも議論していただいている大道筋周辺の活性化に資する事業ではあることは確かです。</p>
間宮委員	<p>ただ、この評議会のメンバー多分誰も、僕だけかもわからないですけど、全く知らなかったの、ちょっとどっちかというところと驚いているというのが正直なんです。これが出てきて予算もついて進んでいく。こっちがまだ今からやっていかないといけないのに、ここで結論が出ていますので、僕らの最終的には何を着地点にしたらいいのか。この議論が終わって、こういう団体ができたらいいですね、こういう団体をつくりましょうという形で終わって、そして団体ができるなら、ストーリーとしては、これでよかったなと思うんですけども。先にこれができてしまったら、ここで何をこれするんだというのがすごく疑問で、よくわからなくなっているというのが正直なんです。ちょっと違うんじゃないかなと。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>おっしゃるように、この事業について、丁寧な準備段階からのご報告が欠けていたということは我々の問題あるところであると思えます。</p>
間宮委員	<p>欠けていたというか、こういうふうになればいいなと思ってずっと議論をしていたやつが、何かこう先にできてしまっている。</p>
岩田会長	<p>途中でということですよ。</p>
間宮委員	<p>途中でですね。</p>
岩田会長	<p>他の委員の方はどう思われますか。というか、すごくいい方向だと思うんですよ。1プロジェクトだとしたら、もっと同じようなのが他にも乱立というのか林立というのか、してもそれはよしということですよ。</p>
事務局 (区長)	<p>もちろん、そのとおりです。</p>

<p>岩田会長</p>	<p>そういうことですね。そのとき、同じように予算つくんですか。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>この事業ができてきたということは、区民評議会でも持っている歴史文化に着目して、皆さんでご議論いただき、昨年度答申の結果を受けたものと考えています。その中からエッセンスなるものを、これを出してくれたパートナーの人も非常に感じる場所があって、体験事業であったり、それから空き家をもっている人と起業したい人のマッチングであったり、空き家のリノベーションとか非常に重要な課題について認識して、それを率先して取り組んでいきたいという申し出があったので我々としても、それを皆さんから出てきたことのエッセンスだということで、積極的に応援していきたいということでやらせていただいた次第です。</p> <p>今、間宮先生がおっしゃったように、皆さんがずっと思ってきた思いとして、こういうことをやったらということで、ご提案を最終段階でいただくところからスタートすれば、もう少しわかりやすかったとは思いますが。そういう意味では、大変申し訳なかったなとは思いますが。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>個人的に思うのは、僕はこういうことは、これですばらしいと思うんですが、これを役所とやるには、以前の問題で、空き家の調査とか、本当に重要なのは、法律・条例なんですよ。この辺になってくると専門的になってくると思うんですが、用途変更とか確認申請とか、平米数とか保健所とか、いっぱいあってできないですよね、普通にやっても。それを京都のように堺市がこういった事業に対して、条例を変えていくとか。お金を出すとか、マッチングするとかは一般人でもできるんですね。僕らでもできるので。でも、町家を活性化していくには、堺市の役所しかできないこといっぱいあるんですよ。それはもう自分で体験しているんでわかるんですけど、そこをまず民間と協働で変えて、こういうところに行かないといけなかったんですけども、そこがすばっと飛んでるんで。それはすごく重要だと思いますし、やはり一番こういうものに難しいのは、安心・安全と周りの人たちとの調整。特にこういうものをつくっていくと外国人の方が来たら、お隣さんとか近所の方は、民泊だとかそういうことで敬遠されるじゃないですか。そこでもっとすごく大事なところで、その整備がものすごく大事だと思うんです。それは、僕らではできな</p>

	<p>いので、本来は、この評議会できちっとそういうことも議論をしながら、この段階に僕はいくのかなと思っていたんですけども、すごくいいことだけ書いていてですね、肝心なところが何もなくて、これがいきなり来るので、大分ずれたなという印象なんですけど。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>その点は、申しわけないと思うんですけども。今、間宮委員がおっしゃっていただいた点ですね。ここが既に住んでいる方にとってよいまちであるというのが第一。その人たちにとって、よいと感じられるようにするには、外の人も来ていただいて、このまちはいいねと、外から見てもいいねということで、住んでいる人が誇りに感じて、さらにどんどんどんどんまちが進化していくというような仕組みづくりが必要だと大きな流れがあって、その中で、民間が主体にあるべきだということで皆さんからご意見いただいて、その中で、役所は規制緩和であったり、あるいは規制を強化することで、それらのフィルター役となったり、例で言いますと、水をかけたり、肥料をやったり、草をとったりですね。そういう応援をきちんとすることを役割分担をしましょうということをお願いしています。そこ議論が我々もまだできてないというのは実際のところで、それについては、よく我々も非常にそれはわかっていますので、これからになりますけども、我々と担当部局との連携できちっとやっていこうと思っているんです。だから、いろいろなことが出てきてそれらを整理する作業がまだ残された課題としてあります。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>そういうことが整理されて、これにつながっていったらいいと思うんですけども、全く整理されてない。言い方が悪いですけど、昔だったらごまかしたら何とかできるんですけども、最近ごまかせないんですよ、いろんな意味で。例えば、グーグルで全部上からわかりますから、隣の人が隣の敷地の中どうなっているか全部わかるんですよ。ちょっとでも違法じゃないですかとか、そんなのはものすごく厳しいのです。そういうことになると、民間でもめて、できなくなる。京都は既にそうなんですけどね。だから、先に役所として、そういったきちっとした町家をリノベーションしていく条例みたいなものがあると、僕らが安心して取り組めるのではないかと思います。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>何かかなり我慢しておっしゃっている気がするんですけど。手続として、間違っていないかというそういうところです。</p>

<p>桂委員</p>	<p>初めて聞くことばかり。「大道びと」という言葉自体も初めてやし、取り組んでいこうとすることをたくさん書いてあるということは何回か話し合いもしていますよね。ここまでくるまで、「大道びと P l u s m o r e」というこの言葉も初めて。公募提案型協働推進事業という言葉自体も初めて。全てが初めて。でも、これで予算がついていきますでしょう。ここいくまでにこういう計画が進んでいます、並行してやっていますでも一言でも途中でね、説明でもあればね。</p> <p>何のことかなと思って、どこかの県のことじゃないの、これ。大道筋って書いてあるから堺のことで。そんなのだったら、今こういうのを並行してやっている。どっちが並行になっているのか。こっちがその下をいっているのかなと。こっちのほうが具体的に進んで、予算もついています。こちらは、後から肉づけするのかどうするのか、初め先生言われていたように、グリーン化だけで一本でいくという、大きい中の区民評議会だったら、これをひとつと事業と捉えたらいいのか。まだこっちのほうが外へ回ってるんじゃないかなという。とり方によっては、区民評議会より、こっちのほうが先に行っているのかなと。初めて聞く言葉ばかりなんで、そこら辺、今まで説明なかったのはおかしい。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>おかしいというか、例えば「大道びと」っていうのは、本当にいいのかというのがこの中でも議論されていたらいんですけども、先に決まっている。何のためにこれをやっていたのかというのがあって、これ以上続けられないと思うんです。今のこの状態であれば。何か着地点を今つくっとかないと。ちょっとおかしいですよ。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>他の方、いかがですかね。おかしくないよって思っている方ははいないかもしれませんが。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>逐一、大道がらみに関する予算のついた話とか、そういうのは区民評議会でご報告をしながら審議をしていただくというのが本来であるかと思います。私どものほうでも、これについてご報告がおくれているということで、急遽ご報告させていただきました。</p> <p>先行的に進めまして、こちらの方でご意見をいただいて、こういう状態にしていくという段取り、今、間宮委員がおっしゃったように多分、物ごとの進め方というのは、こういう緊急性のあるもの、重要性</p>

	<p>のあるものの優先順位をしっかりと決めて、進めていくことかと思えます。間宮委員がおっしゃったように、条例とか市のほうのハードルを下げるような手だてもあわせて、民間と一緒にやっついていかないと、この事業がなかなか進みにくいということもこれからあると思います。区民評議会で最終的な着地点をもらってから、事業を進めるべきとは思いますが、これは先行して進めさせていただきました。</p>
岩田会長	<p>ごめんなさい、何回聞いても同じことの繰り返しなんですね。おっしゃっていること、わかります。もうそれ以上、おっしゃらないほうがいいかなと思います。もうだから、やっているから認めてほしいと、そういうことですね。それに戻って、中間報告案を検討しろというのは、ちょっとおかしくないですか。</p>
佐野委員	<p>2回目の資料があったので、見させていただいたんですけども、6月、7月ぐらいに大道筋の企業さんとかと一応、会議とか開設したんですね。このときには、大道びとのことはあったということですよ。10月1日から事業期間が始まっているということは、プレ準備会議とかに参加していただいていたところに、EXSA.さんがいらっしやっていたのか、それとも、同時進行で行こうと思って招致をしていたのかをお尋ねしたいんですけども。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>EXSA.のメンバーの方は、準備会議の方には来られていました。</p>
佐野委員	<p>紹介なしですよ。</p>
岩田会長	<p>なかったですね。大道筋のそういう会議をつくりますよというそういう話しかなかったですよ。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>準備会議の報告はさせていただいていたと思うんですけども。</p>
岩田会長	<p>アンケートとかしましたよとかですね。それだけです。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>ただ、その会議の中で、大道びと云々というのは議論されたということはないです。</p>

信田委員	違う会議なんですよ。
事務局 (企画総務課長)	はい。
岩田会長	中間報告案の検討、今日やめましょうか。場を変えましょう。
間宮委員	進められないですね、多分。
岩田会長	他の方はどうですか。矢本委員、どうですか。
矢本委員	これ多分、市民協働化の採択事業なので、区はがつつり最初からかかわって一緒に組み立てていって、これはそちらに提案した上で、補助金なり何なりとっているということだと思うので、それが全くないというのは本当に裏切られたというか、おかしな状況だと思いますね。
岩田会長	なりましたね、そうですね。
矢本委員	それ以外、何ものでもないかなと。
岩田会長	本当だったら、こういうものがあつたとしたら、もう中間報告の今日の時点で、ここにこういうものを盛り込んどかないといけないんですよ。逆に言ったら。それをしれっと知らん顔して報告出すというのは、ちょっと合点ができない。
佐野委員	中間報告で考えたことが一気に吹っ飛びました。
川上委員	まだ今日出てまじやけどね。
事務局 (区長)	申しわけないです。我々も「大道びと」の話がうまくシンクロできてなくて、遅くなってしまったというのが現状です。
岩田会長	この内容がね、全然私たちが議論した内容と関係ないならいいですよ、別に。

<p>事務局 (区長)</p>	<p>だから、スタート地点からこういうことで考えているとか、あるいはその辺についての相談も含めて、きちっと手順を踏んでやるべきだったなというふうには私自身も思っています。こうなってしまうてから、中間報告というのはおっしゃるとおり、順番が少し違うので、大変申しわけないと本当に思います。ただ、言いわけになって恐縮ですけども、この取組をぜひ応援していただけたらなと思うんですけどね。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>応援はずっとしてきています。時間もとって。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>大道筋でこれを本当に成功させられたら、皆さんが思っている思いの共有をしているところは、ある程度前行くとは思いますが、その先導役で、先日、間宮先生が「SAKAINOMA」をやられています。そういうものをモデルにして、我々の協働事業もそういうことが2つ目、3つ目、4つ目ということで、できていったらなと思います。ああいう立派なものはなかなか、難しいかもしれないですけども、そういうふうにならなくても大道がよくなるような事業につながればなという思いだったんです。ただ、皆さんおっしゃるように手順としては間違っていたということは、率直に申しわけないと思います。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>民間が事業として勝手にやっているのと、評議会で議論して、役所が予算つけるというのは全く違うこと。そこを僕らが今こう何回か、何カ月に1回集まって、こうやって議論をしてつないできたものが全く無視されて、ひょっとこう出てきて。僕らこの結論をここへ持って行くためにやっていたのに、結論を先出されるともうやる事がなくなって、本来はこれをするための評議会でなかったと。評議会があったから役所のそういったものも変えられた。なかなか変えられない部分ね。こうやって民間でやろうと思ったらできるじゃないですか、それを後押しするのは、役所の役目だと思うんですけども。役所しかできないことを民間の力で変えられたというのを今僕らの一番評価かなと思っていたんですね。その後これがついてきたらいいんですけども、そこが全くないじゃないですか。だから、ちょっとおかしいんです。この問題の大きな盲点がここに本当はあるんですけどね。これをするためにこういうことをしないといけないなというのが。でも本</p>

	<p>当にこれを実行していこうと思うと、それがなかったら本当に多分つぶれていくと思うんです。</p>
事務局 (区長)	<p>おっしゃるとおりです。だから先走ってやっちゃっているということだと思います。そこを環境整備といいますか、こういう制度的なやつがあるよと、気を付けないといけないことなど、そういうところはまた教えていただいて、その中でこれ自体も軌道修正していかないと、やっついていかないといけないと思います。</p> <p>またこういう大道筋を舞台にした事業をもっと幅広くご提案もされてるので、他の関係のことも同時に進んでいけたらいいなというふうに思っています。本当に手順が間違ってるということは、本当に申しわけないと思います。</p>
間宮委員	<p>隠す理由があったんですか。</p>
事務局 (区長)	<p>それはないです。</p>
間宮委員	<p>桂委員おっしゃっているように。</p>
事務局 (区長)	<p>それは、全然ないです。全くないです。</p>
間宮委員	<p>桂委員、そういう驚きだったと思うんですよ。</p>
事務局 (区長)	<p>それは我々としては、礼を失っていたと思います。</p>
事務局 (企画総務課長)	<p>以前の評議会でご報告できるタイミングはあったと思います。それが失念していて申しわけありませんでした。</p>
岩田会長	<p>会議でなくても別にいいじゃないですか。そういう問題じゃないと思う。</p>
川上委員	<p>前回、市議員の人はこの結果を知っていたんですか。知っていて出していたんですか。</p>



<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>基本的には、報道提供をさせていただいたときに、議員にはご報告はしています。報道提供をこの採択をされた段階で、報道提供がされましたので、その段階で議員のほうにもご報告はさせていただいています。</p>
<p>矢本委員</p>	<p>8月の二十何日には決まっていたわけですね。採択されているんですね。</p>
<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>ただし、前回の3回目の会議が8月上旬ありましたが、その後にこちらのプレゼンともりまして、なかなかまだまだご報告、3回目なのでしづらい状況ではあったと思います。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>でもそういうことをこれからやろうとしているというご報告はできたと。</p>
<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>8月の決定した段階で、速やかに皆様のほうにご報告させていただくのを失念していたというのは、非常に申しわけなく思っております。</p> <p>あと、こういったものを進めていく区の思いとして、まず一番大きいのは、去年の答申でありましたように、大道筋を活性化させていかないといけないという部分での答申を去年いただきました。それを受けまして、区としても、以前からご報告させていただいている場づくりをやっていくとともに、大道筋にかかわる部分に関しては、ひとつでも2つでも取り組みのほうを進めていければというところで、その1つが、こちらの内容ではあります。確かにおっしゃるとおり、こちらの中間報告の中にそういった内容がまだ触れられていないというところにつきましては、隠したわけではないんですけれども、結果としてそういうかたちになっているとことにつきましては、非常に申しわけなく思っています。また、今年につきましては、町家ということも含めましてご議論いただいているところでもあります。一方で、町家だけでなく大道筋周辺環境の整備も必要であるというふうなかたちでのご意見もいただいて、当然ながらこれが今回の部分というのは合致してくるかと思っておりますので、そういった部分では、中間報告には十分反映できてないところであったかと思えます。</p> <p>一方で、こういうかたちでさせていただいたというのは、去年の区</p>

	<p>民評議会で大道を盛り上げていかないといけないという答申いただいたという部分を踏まえて、区として取り組みを進めてきた1つのかたちとして今こういうかたちでさせていただきました。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>本当に本質的な部分の事業にかかわる事業でございますので、検討段階から、区民評議会の先生方にご意見伺いながら進めるべきであったと反省をさせていただいております。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>ここで議論されたことがそのまま使われてるということで。全然違うとは思うんですよ。それだったらわかります。こういった案があるけども、大道筋に関することだし、どうだろうという。これ議論で僕はいいと思うんです。でも、僕らが1年半かけてやってきたことがずっと持っていきはって、しゅっところやって、そう見えるんですよ。そうじゃなくても、多分皆さんそう思っ。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>そういうふうにとるのは、一般的なとり方かなと思うんですけど。最初にお約束したと思うんです。私らが勝手にしゃべって、それで終わりというじゃないでしょうねっていうことをお約束しているんですね。それなのにと感じなんですよ。何か勝手にしゃべらせとけ、こっちはこっちでいいことするみたいな。そういう結果になっちゃったなって感じがしたんですね。もういつまでもこんな話していてもだめなので、中間報告というのはいつまでに出す必要がありましたっけ。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>私どもの庁内のスケジュールとしましては、今日修正をいただいて、早急にその部分を盛り込みまして、できましたらいただいた中間報告を市長、正副議長にご報告を11月に入ったところでさせていただきたいなど。私どもの勝手な予定なんです。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>そうですか。ちょっと無理やりそこに持っていくというのはよくないかなと思うので、中間報告このままではだめなので、少し訂正というか書きかえていただいて反映していただいて、現状を。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>わかりました。</p>

岩田会長	もうすっかり成果出ているのに。
桂委員	追い越して行って先にゴールにいつている。
岩田会長	必要があるとばかり言っているけど、もうやっているということですよ。まあ、そのやれているのは、評議会の成果ですよ。
事務局 (区長)	僕自身は、いよいよ出すときになって、一生懸命彼らがやっているのに並行して、なかなかそのところをちゃんとコントロールして調整して、皆さんとキャッチボールしながら、よりこの事業の方へ反映すればと思っています。
岩田会長	それはわかります。本当大変な事業だと思いますから、よくわかります。よくわかるんですけど、この報告案の修正をお願いしたいという結論になりそうです、今日。
事務局 (区長)	はい。わかりました。
岩田会長	よろしいでしょうか。 このままじゃなくて、もう一回修正をきちっとしていただいて。
事務局 (区長)	修正ならぬ現状反映して、我々のほうで改めて先生方のほうのご意見また改めて伺って、その上で完全なものにしたいと思いますので。
岩田会長	持ち回りでもいいんでしょうかね。
間宮委員	ですから、一番肝心なところを僕は、最終案でつくらないといけないと思うんですね。これができてしまっている以上。これを最終案にして、評議会としてこれを推進していくように一緒になって進めていく。成果ですよ、これはね。成果というのは、これが3年間、評議会の議論の中で生み出されて、結果どうなったかということまで評議会できちっとそれを見守っていくというものがこの中に盛り込まれていけば、僕らのよかったなど。
岩田会長	まあ何かいいことできたなど。

桂委員	成果だったらいいですよ。成果として出ているんだったらいいですよ。成果として出ているかどうかは、僕は知りませんから。
岩田会長	少なくとも私たちの中間報告の中にこれが入ってないっておかしいでしょ。
事務局 (企画総務課長)	それは入れさせていただきます。
岩田会長	そこにちょっと気がついたかなという感じ。
事務局 (区長)	これまでの蓄積を全部できる範囲で入れたというのは、この案になっていると思います。
岩田会長	必要がある必要があるって書いているけども、もうできてるじゃないですかっていう。そこをちゃんと書きませんか。
間宮委員	これを今後どうするかですよ。評議会として。その前にここをどういうふうに最終結論につくって、これにつながるか。
岩田会長	つなげるか。どうなんですかね、多分これだけじゃなさそうなので、もっと他にもいろんなプロジェクトが本当は欲しいんですよ。
事務局 (区長)	欲しいです。もっともっといろんなプロジェクトを幾つも。今うちのほうでですか。いろいろな意見いただいて、ハードの方もどれだけできるかわかりませんが、進めていこうとは思っています。それは、また予算であったり、そういうこれからこういう概要をご意見いただいて、いいものになるようにしていきたいなとは思っています。
桂委員	区民評議会がこれに乗ってもいいものなんですか。こっちの結果の方へ乗って。
岩田会長	結果に乗るといふか、むしろ私たちが発言してきたことをですね、実行していただけるというのは、本当はすごくうれしいことなので、そういうふうに理解したいんですけども。理解できるような資料が用

	意していただけてない。
桂委員	踏まえての計画だったらいいですよ。これが。
間宮委員	きちっと実行してもらえないと、どこかに偏ってしまって、誰かのためにだけになってしまうのはまずい。
桂委員	区民評議会と踏まえてのプロジェクトだったらいいですよ。
岩田会長	もちろんいろんな意見は、それは区民評議会を踏まえて、いろんな広報されているので、そういうことを踏まえてこのプロジェクトを出してくださっている。
桂委員	予算ついてますもんね、こっち側のちゃんと。
岩田会長	私たちは思っていますからね。全くゼロからじゃないという気がするんです。ちょっと手続きが。
桂委員	谷本さん、何かいつも言いはるのに。今日は。
谷本委員	一応これ私が代表させられているんでね。
間宮委員	させられているというのは。
谷本委員	させられているというか、これをやられるということで、私一応責任者みたいな立ってくれというお願いがあったんです。ただ、皆さんには私は報告するかせんかは、私の判断ではできませんでしたので。
間宮委員	どっかの組織があるんですか。
谷本委員	その集まったときの中にも既に大道筋のとかで活動している人らがみんな出ていました。
桂委員	そういう集まりがありますというのはね、ご連絡はいただいているんですけども、特に出てない。僕は出てなかったんですけども。

谷本委員	私だけだったんですね。
桂委員	そういう結果あれば、そういうふうにご報告いただく。名前についても初めてということないようにと思って。そのところに出てなくてもね。そんなんいったら、いろんな会議に出ないといけない、あちこちでこういうこっちの会合とかには、とてもそんな出られへん。
岩田会長	そこと連携してやっていきましょうという約束じゃなかったでしたっけ。そんな話していましたよね。大道筋のチームと評議会とが連携してやっていきましょうという話でしたよね。
事務局 (企画総務課長)	<p>場づくりのほうで去年、提案をいただいておりますので、今その場づくりにつきまして、2回ほど準備会議をさせていただきました。その準備会議にもE X S A. という団体に所属している団体のメンバーが参加していました。</p> <p>一方で、革新一者という団体ともメンバーが重複する団体です。ただし、革新一者全員の総意でこのプロジェクトにかかわるということではなかったということなので、その一部のメンバーの方がE X S A. という名称で活動団体をされるということなので、今回はE X S A. というかたちでさせていただいたということなので、基本的には革新一者の一部のメンバーの方がE X S A. という団体の構成員。</p>
間宮委員	革新一者はどういう団体なんですか。NPOですか。
事務局 (企画総務課長)	<p>違います。任意の活動団体で、おとしぐらいから、大道筋のクリーンアップであるとか、かふえマルの取組を実施しています。</p> <p>沿道で朝ごはんカフェとかというのも去年までは区と協働でさせていただいてまして、今年から区が一步引いて、主体は革新一者さんで、うちのほうは協力というかたちで、かふえマルのほうもついこの間させていただいております。掃除は毎月。たまたま矢本さんのガシ横と同じ日になっちゃってるんですけども、させていただいてるという団体でございます。</p>
岩田会長	すごくいいプロジェクトなので、それを私たちが応援しないふうにかかれてるので。関係ないよっていうふうにかかれてるので。

間宮委員	今そういうことをやってなくて、そういうことをやらないといけないでしょうと書いている。
川上委員	<p>中間報告の日付を8月末ぐらいにしたらいけますね、それでこれが出てきたらオーケーやわね。今後、でき上がったからこれに対して我々が何をするかということになってしまう。</p> <p>観光客など買い物客などって書いてあるけど、これがこれからもこのまま来るとは限らないし、今年減っていますからね。このまま続くなんてわからない。でも簡単に書いていますよね。今年激減していますよね。それをどないするかなんて何もどこにも出てないし、そういう調査もできてないわけですからね。中間報告やっぱり前に持っていないとつじつまが合わない、今からやると。</p>
間宮委員	でもこういうのが具体的に出てきているので、多分あってないと思うんですよね。よく精査すると。ここから本当は具体案がここに来ないといけないんですけども、評議会が議論した結果、こういうのができましたというふうになるんですね。それはいいと思いますけども、本来考えていることと、ちょっと違うんですよね。ここに書かれている内容が。
事務局 (区長)	そのままではもちろんないです。だから今後も話を皆様でやっていただいでいて、その中の一部をこの団体との関係の中でやれそうな範囲で書いているということになりますので、もっと違ってきます。
岩田会長	そこなんですよ。私たちただ単にしゃべるだけしゃべらせておいて、他でやりましょうってそれはやめてくださいねっていうのは、最初の出発点なんです。
桂委員	こういう私たちの意見があれば、ひとつの成果が出てくる、そういう。
事務局 (区長)	そういうのが欲しい。
岩田会長	もっと大事なことがあります。

事務局 (区長)	あると思います。
桂委員	あると、補充していくというか。
事務局 (区長)	全てが入っているということでは決してないです。
岩田会長	ないですけどね。 現状、8月の日付にするというのは、あまりにも過激なような。なるべくよい方向で。
間宮委員	本当にこの評議会続けて、どうするのか、結論をどうするのかというのは、この問題は解決しないとなかなか正直おさまらないし、気持ちの上でも踏ん切りがつかないですよ。
桂委員	会長にお任せいたします。
岩田会長	私は区長に修正をお願いしたいんですけどね。
事務局 (区長)	修正は徹底的にやらせてもらいたいと思います。失礼なことしますので、こちらとしては。
岩田会長	そういうとり方はよくないと思う。謝って済むことじゃない。謝ってくださらなくていいので、次どうしましょうということをお願いしたいと思います。 修正案をまた出していただくということで、皆さん、ご了承のほどお願いします。評議会もできたらあと3回あるんですかね。
	(2) その他
岩田会長	次に、スケジュールなどについてお話をさせていただきますでしょうか。
事務局 (企画総務課主査)	そうしましたら、資料2のほうです。今のお話も踏まえまして、またご相談させていただかないといけないかと思いますが、今のところ



	<p>スケジュールとしましては、あと残り3回ぐらいを考えておりました。第6回は、今回の部分も踏まえまして、例えば町家の保全活用という部分の具体案。例えば堺市としては、どういったものが必要なのかということも含めて、そこについてもご議論いただきながら、それを踏まえた第7回目としまして答申案の素案を検討いただいて、第8回目、2月に最終答申についてご検討いただいて、一応めどとしましては、平成29年の2月、最終答申いただければというかたちで考えております。</p> <p>あと、これ以外に先ほど申しましたように大道筋における今後の取り組み、進めるに当たっての方向性を示した指針的なものもあわせて、こちら作成していただければと思っております。それにつきまして、またご報告させていただきながらご審議いただければと思っております。この中のどれかでご報告のほうさせていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>岩田会長</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>スケジュールについて、何かご質問ございますか。よろしいですか。もうちょっと最後まできちっとやりたいので。あと3回ですね。よろしく願いします。</p> <p>3 閉会</p> <p>岩田会長</p> <p>よろしいですかね。</p> <p>では、以上をもちまして、第5回堺市堺区区民評議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>
--	--